

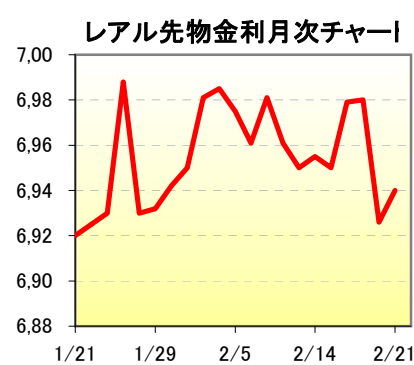
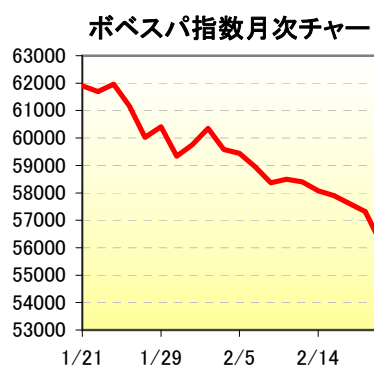
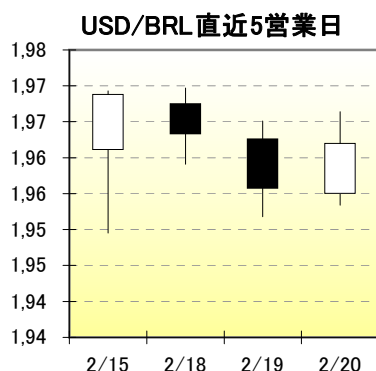
## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			2月15日	2月18日	2月19日	2月20日	2月22日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	1,9660	1,9630	1,9540	1,9630	1,9740	+0,0110
	USD/YEN	Spot	93,51	93,97	93,60	93,63	93,41	-0,2200
	EUR/USD	Spot	1,3365	1,3351	1,3387	1,3281	1,3184	-0,0097
	BRL/YEN	Spot	47,49	47,87	47,85	47,72	47,34	-0,3800
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,54	1,49	1,52	1,63	1,69	+0,0562
		1Year(p.a.)	1,56	1,55	1,58	1,66	1,69	+0,0237
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,29	7,38	7,36	7,33	7,53	+0,2006
		1Year(p.a.)	7,70	7,81	7,86	7,78	7,91	+0,1307
Stock	Bovespa		57.903	57.614	57.314	56.178	56.697	+519,46
Bond	CDS Brazil 5y		120,10	120,80	121,37	122,61	126,91	+4,2970
	Global 40		124,375	124,250	124,750	124,375	123,875	-0,5000

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
IBGE CPI IPCA-15(拡大/前月比,2月)	0.62%	0.68%	0.88%	
経常収支(月次,1月)	-\$9650M	-\$11371M	-\$8413M	
対内直接投資(1月)	\$4850M	\$3703M	\$5358M	
CAGED Formal Job Creation(1月)	50000	28900	-496944	

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場はUS\$1=R\$1.9680で寄り付いた。
- 週初は米国市場が祝日で休場のため、レアル相場の流動性は極めて限定的となった。一時的に買いが優勢となるも、資金流出の噂からじりじりと1.96台後半まで反落した。
- 翌19日は大口の資金流入の噂からレアル買い優勢の展開となり、週間高値となるUS\$1=R\$1.9520を付けた。
- しかし週央にかけてFOMC議事録が発表され、「景気見通しの変化もしくは資産購入の効果とコストに対する評価の変化に応じて、委員会は資産購入のペースを変える準備をすべきだと強調」との内容を受けて、レアルはリスク資産の続落につれて1.96台半ばまで下落した。
- 翌21日には2月のユーロ圏総合景気指数が予想に反して低下したことが嫌気され、ユーロが下落したことに加え、リスク資産の続落につれてレアルは週間安値となるUS\$1=R\$1.9790まで続落した。
- 週末にかけては2月の独企業景況感が10カ月振りの高水準に達したことが好感され、リスク資産に買い戻しが入るとレアルもつられて買いが優勢となった。しかし、大口の資金流出の噂からレアルは1.97台前半まで反落し結局US\$1=R\$1.9740で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

# Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5. 来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
2/25	FIPE消費者物価指数(週次)	Feb 21	0.64%	0.83%
2/25	FGV建設コスト(前月比)	Feb	0.78%	0.39%
2/25	FGV CPI IPC-S	Feb 24	0.29%	0.55%
2/25	税込	Jan	103450M	103246M
2/25	貿易収支(FOB)-週次	Feb 24	---	\$179M
2/26	FGV消費者信頼感	Feb	---	117.9
2/26	失業率	Jan	5.3%	4.6%
2/26	融資残高	Jan	---	2359B
2/26	貸付残高(前月比)	Jan	---	2.4%
2/26	個人ローン・デフォルト率	Jan	---	7.9%
2/27	FGVインフレ率-IGP-M(前月比)	Feb	0.33%	0.34%
2/27	FGVインフレ率-IGP-M(前年比)	Feb	8.34%	7.91%
2/27	純債務対GDP比	Jan	---	35.1%
2/27	基礎的財政収支	Jan	22.0B	22.3B
2/28	製造業PPI(前月比)	Jan	---	0.30%
2/28	製造業PPI(前年比)	Jan	---	7.16%
3/1	FGV CPI IPC-S	Feb 28	---	---
3/1	GDP(IBGE)(前期比)	4Q	0.8%	0.6%
3/1	GDP(IBGE)(前年比)	4Q	1.5%	0.9%
3/1	GDP(IBGE)(四半期累積比)	4Q	---	0.9%
3/1	製造業購買担当者指数	Feb	---	53.2
3/1	貿易収支(FOB)-月次	Feb	-\$400M	-\$4035M

## 6. 来週の為替市場注目点

予想相場レンジ：1.94－2.00

今週は米 FOMC 議事録の発表で資産購入のペースを変える準備をすべきだと強調されたことを受けたリスク資産の動向がリアル相場を大きく動かす要因となり、リアルは 1.97 台後半まで下落した。来週注目されるイベントとして、26 日にバーナンキ米 FRB 議長による上院での証言が予定されており、資産購入のペースに関する詳しいコメントが予想され、資産購入のペースに変更がないことが明らかになればリスク資産買いの動きが強まり、リアルにも影響があると予想される。しかし、1.95 台に近づく局面では伯中銀によるドル買い介入警戒感が強まることから当面のリアルの上限は 1.9500 付近となろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。